

## 海外ワークエクスペリエンス2 (実践編プログラム)

※旧科目名:「海外インターンシップ2」と同一科目(2024年度より科目名変更)

### 〈概要〉

- ・海外企業等で約4週間、個人で参加し実践的な就業経験を積むプログラム
- ・長期休暇期間中(8~9月/2~3月)に実施
- ・大学独自の直営プログラム
- ・2025年4月現在、14の国/地域における多様な業種の約30社/団体と連携

### 〈目的〉

- ・企業や社会の仕組みを知り働くイメージを持つ
- ・異文化適応力・コミュニケーション能力・外国語能力・主体性・責任感・協働性・発信力など  
グローバルに活躍する力を高める
- ・個人が必要とするスキルに自ら気づき、帰国後の学びや将来に活かす

【募集サイト】 申込方法等募集情報詳細はポータルサイト「SPIRIT」内の本科目専用募集サイトに掲載  
[https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/internship/SitePages/intern2\\_index.aspx](https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/internship/SitePages/intern2_index.aspx) ※URL変更の可能性あり

### 〈選考/派遣に関するスケジュール〉

#### ◇ 8~9月実施 ◇ (春学期期間外科目)

4月上旬	募集情報公開
5月7日(水)17:00	応募締切
5月	学内選考(書類選考・オンライン面接選考)
~6月中旬	企業による選考, 結果通知
6月	履修登録
6~7月	受入企業/団体との調整
6~8月	渡航準備, 目標設定
7月	事前研修
8~9月	現地でのワークエクスペリエンス
9月	帰国報告会
9月下旬以降	成績発表

#### ◇ 2026年2~3月実施 ◇ (秋学期期間外科目)

9月下旬~10月初旬	募集情報公開
10月中旬	応募締切
~11月上旬	学内選考(書類選考・オンライン面接選考)

～11月	企業による選考，結果通知
～12月上旬	履修登録
11～12月	受入企業／団体との調整
～2026年2月	渡航準備，目標設定
1月	事前研修
2～3月	現地でのワークエクスペリエンス
3月	帰国報告会
翌年度4月	成績発表

※具体的な日程については，募集時に提示する資料を確認すること。

### 〈派遣先情報〉

- ・派遣国：アジア・ヨーロッパ・オセアニアの各国
- ・受入企業名，派遣スケジュール，業務内容等は各募集時に提示
  - ※ 派遣先企業・地域は実施時期毎に調整を行うため每期異なる
- ・受入企業／団体によって学年や語学レベル等の条件がある場合があるので注意すること。

○派遣企業例（2024年度実績） ※派遣先は毎年変更あり  
 日本航空（ロンドン／フランクフルト），リコーヨーロッパ（ロンドン），  
 H.I.S.（ニュージーランド），JR 東日本 Business Development SEA（シンガポール），  
 双日テックイノベーション・ベトナム（ベトナム）  
 TCI 上海（中国），モスフード（香港），香港大学（香港），トヨタ自動車（マレーシア） 他

### 〈プログラム概要〉

- ・事前準備：目標設定，渡航準備
- ・事前研修：渡航の際の留意点，参加プログラムへの理解，関連業界調査，マナー学習等
- ・現地研修：現地でのワークエクスペリエンス（各自参加），中間振り返り
- ・事後研修：報告会，振り返り

### 〈履修登録に関する事項〉

- ・募集サイト掲載の指示に従い WEB 申請を行うこと。
- ・派遣が決定した学生には，春学期期間外科目もしくは秋学期期間外科目として大学が「その他」登録を行う。改めて登録手続きをする必要はないが，履修登録後に更新される履修登録状況画面を各自必ず確認すること。
- ・2 単位科目
  - ・在籍 8 学期日以降の学生は履修登録不可
  - ・重複履修をした場合，その修得単位は随意科目として扱う。2023年度以前開講の旧科目名「海外インターンシップ 2」と同一科目のため，同科目の単位を修得済みの者が，重複履修をした場合にもその修得単位は随意科目として扱う。

- ・登録済の別の科目（集中講義科目，時間割の設定されていない科目等）と実施日時が重複する場合履修登録不可
- ・春学期期間外，秋学期期間外いずれの学期で本科目を履修登録した場合も，全学共通科目総合系科目として年間の履修登録上限単位数（12 単位）に算入される（学期ごとの上限には含まれない）。選考の結果合格した場合でも，上記に示された履修登録上限のルールを超えて履修登録ならびに単位の修得をすることはできない。本科目の履修登録時期は，通常の履修登録時期より遅いため，申込をする前に自身でよく確認し，計画的に履修計画を立てること。

#### 【履修登録上限単位数への算入方法の事例】

##### 例 1) 春学期・秋学期

総合系科目の年間履修上限単位（12 単位）および各学部の定める各学期または年間の履修登録上限に達していない場合は本科目の選考合格ののち履修登録可能。

##### 例 2) 春学期

総合系科目の春学期における履修登録上限（6 単位）をすでに履修している場合でも，本科目以外の春学期期間外科目で総合系科目の年間履修上限単位（12 単位）に達しておらず，かつ各学部の定める春学期の履修登録上限に達していない場合は，本科目の選考合格ののち履修登録可能。

##### 例 3) 秋学期

秋学期の総合系科目の履修登録上限 6 単位に達していない場合でも，総合系科目の年間履修上限単位（12 単位）や，各学部の定める学期／年間の履修登録上限を超えてしまう場合は履修登録不可。

##### 例 4) 秋学期

総合系科目の秋学期における履修登録上限（6 単位）をすでに履修している場合を含め，総合系科目の年間履修上限単位（12 単位）および各学部の定める年間の履修登録上限に達していない場合はその範囲内で本科目を履修することができる。

#### 〈成績〉

本科目の成績は「合格」または「不合格」とする。

#### 〈参加条件〉

- ・履修を希望する学期に在学していること（当該学期を休学している者は申請・参加不可）
- ・ワークエクスピリエンス実習時に日本からの出国／日本への帰国が可能な者
- ・各企業から提示する条件を満たすこと
- ・派遣国の示す入国条件を満たすことができる者。必要な査証を取得できること
- ・事前研修／事後研修を含むすべての日程に参加できる者
- ・下記(1)～(3)に該当する学生についても参加申込を認め，選考により合格した場合はプログラムに参加することができる。下記注意事項を確認し，希望する場合はグローバル教育センターに相談すること。

##### (1) 在学 8 学期目以降の学生

ただし，履修登録および単位修得をすることはできない。

(2) 履修登録上限の超過により履修登録を希望しない者

履修登録上限を超過してしまうため本科目の履修登録を希望しない場合、履修登録せずプログラム参加申込をすることを認める。単位は修得できない。

(3) 博士課程前期課程 1 年次生

参加が認められた場合には履修登録を行うが、参加者の選出に当たっては学部生の参加を優先する。なお、修得単位は修了要件単位には算入されない。

※(1)~(3)いずれにおいても、プログラム参加に当たっては履修登録の上参加する学部学生と同様、現地海外ワークエクスパリエンスのみならず事前研修、帰国報告会、課題提出、および関係各所の諸指示に従うことを必須とする。

**〈留意事項〉**

- ・派遣決定後であっても、国際情勢や現地事情の変化等の事由により派遣中止や途中帰国となる場合がある。
- ・渡航に際しては、本学の指定する賠償責任保険及び海外旅行保険に加入すること。
- ・申請前には必ず、募集要項・実習内容書等の該当学期に公開される募集資料を全て確認すること。
- ・査証の取得に当たっては、国籍や海外渡航歴等によってプログラム参加に必要な査証を取得できない場合がある。必要な査証を取得できなかった場合、選考合格者でもプログラムに参加することはできない。

**〈備考〉**

- ・航空券手配、宿泊先手配、査証取得など渡航に必要な手続きは個人の責任で行う
- ・渡航費、宿泊費、食費等生活費、査証取得費、海外旅行保険料など必要経費は自己負担  
(金額は参加プログラムや派遣地域により異なる。5~90 万円程度)

以上

